

(電子メール施行)
農技第1395号
平成30年11月1日

関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予報第6号を発表します。

平成30年度病害虫発生予報 第6号

向こう1か月の病害虫発生予想

作物名	病害虫名	発生予想	発生現況
トマト	灰色かび病	やや少	少
	アブラムシ類	やや少	やや少
	コナジラミ類	平年並	やや少
ハクサイ	白斑病	やや少	少
	黒斑病	やや少	少
	べと病	やや少	少
	軟腐病	やや少	少
冬(春)キャベツ	黒腐病	やや少	やや少
	菌核病	平年並	やや少
ネギ	さび病	やや少	やや少
	黒斑病	やや少	やや少
	べと病	平年並	平年並
冬レタス	菌核病	平年並	やや少
	灰色かび病	やや少	少
	腐敗病	やや少	少
	ビッグベイン病	やや少	少
イチゴ	灰色かび病	やや少	少
	うどんこ病	やや少	少
	アブラムシ類	やや少	少
	ハダニ類	やや多	平年並

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報

(10月27日から11月26日までの天候見通し)

平成30年10月25日
大阪管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

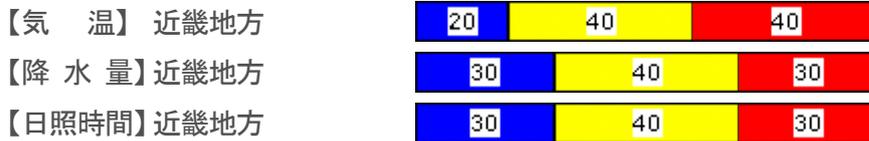
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

近畿日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

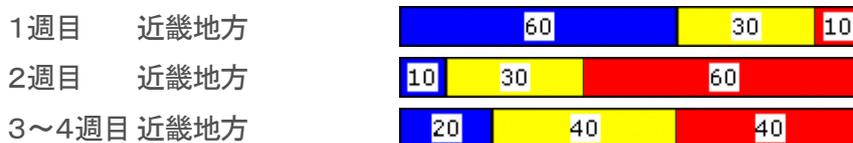
週別の気温は、1週目は、低い確率60%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: 低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 :10月27日(土)～11月26日(月)
1週目 :10月27日(土)～11月 2日(金)
2週目 :11月 3日(土)～11月 9日(金)
3～4週目 :11月10日(土)～11月23日(金)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

トマト

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の予察ほ場では発生(寄生株率4%)は認められたが、下旬では認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高いと予想されているが、今後はハウスへ侵入する機会が少なくなることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

3 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では寄生複葉率が6.7%(平年値18.3%)とやや少ない発生であった。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、日照時間は平年並と予想されており、施設では増殖に好適な条件になり、平年並の発生になると考えられる。

ハクサイ

1 【白斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【黒斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

3 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。
- イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

4 【軟腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。
- イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

冬 (春) キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていないが、周辺ほ場ではわずかに発生が認められている。
- イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されているが、本病の増殖する要因は少ないと考えられることから、今後やや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていないが、周辺ほ場ではわずかに発生が認められている。
- イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、感染が助長され平年並の発生で推移すると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。
- イ 予防的な薬剤防除を行う。
- ウ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

ネギ

1 【さび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の現地調査では発生ほ場率25%(前年値25%)と認められているが、予察ほ場では発生は認められなかった。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されているが、本病の増殖する要因は少ないと考えられることから、今後やや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【黒斑病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では発病株率8%(平年値29.3%)、現地調査では発病株率0.3%(前年値2.1%)とやや少ない発生であった。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されているが、本病の増殖する要因は少ないと考えられることから、今後やや少ない発生で推移すると考えられる。

3 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では発病は認められていないが、現地調査では発病株率 4.3%(前年値3.5%)と平年並の発生であった。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、本病は平年並の発生で推移すると考えられる。

冬レタス

1 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査では発病は認められていないが、現地調査ではわずかに発生が認められている。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、本病の伸展は平年並の発生で推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア ほ場内に明渠排水等を行い、排水対策を実施する。

イ 予防的な薬剤防除を行う。

ウ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

2 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、本病は多湿条件となると発生がやや助長されることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

3 【腐敗病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていないが、台風等の風雨による茎葉の傷口から病原菌が侵入しやすい状態と考えられる。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、本病は多湿条件となると発生がやや助長されることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

4 【ビッグベイン病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

イチゴ

1 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の場内調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、施設内がやや多湿条件となることから、本病はやや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【うどんこ病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の場内調査及び現地調査では発病は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、降水量、日照時間ともに平年並と予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると考えられる。

3 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の場内調査及び現地調査では発生は認められていない。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高いと予想されているが、今後はハウスへ侵入する機会が少なくなることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

4 【ハダニ類】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の場内調査では発生は認められていないが、現地調査では、苗からの持ち込みと思われるハダニ類の発生が見られている。

イ 今後の1か月予報によると気温は平年並～高く、日照時間は平年並と予想されており、また施設内は日中は高温・乾燥条件となりやすいので、ハダニ類の侵入のあった施設では増殖が助長されることが予想される。

(3) 防除上の留意点

ア 薬剤散布を行う場合は、薬液が葉の裏に十分かかるように行うこと。

イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>)